

第一回定例会

各会計補正予算および新年度予算、条例改正17件、契約議案3件、陳情4件などを審査した。

一般会計予算の編成替えを求める動議を提出

新年度予算には調布基地跡地留保地の施設整備に関する経費40億円余が含まれる。本計画は、市民利用や費用負担の割合が不明であることに加え、不透明なプロセス、自然環境の喪失、生活環境への影響の検証の欠如、必要な各議決を経る前に基本計画が財務省に提出されることなど、多くの課題が未解決のまま、2028年の供用開始を最優先に進められている。一旦立ち止まりプロセスを見直すため、関連経費を削除し、歳入歳出の差額分を財政調整基金（市の貯金）に積立てることを提案した。

3会派から質疑を受けたが、計画に関する議論は深まらないうまま、計画への見解の相違とは関係のない理由で動議は否決された。



一般会計予算に反対

基本的施策では「ニュー調布」という新しい言葉が登場し、調布駅前広場の完成が強調された。一方、長きに渡る広場整備では樹木保全やバスロータリー形状の見直しの問題に加え、地下駐輪場計画の廃止といった紆余曲折があったが、そうしたプロセスへの振り返りは示されなかった。過去のプロセスを検証し未来に生かすためにも、ビジョンを示すことは政治家としての責務ではないだろうか。

調布基地跡地留保地施設整備は、こうした市長の政治姿勢と長期政権の影響が色濃く表れる計画だ。関連予算は暫定とし、来る市長選で民意を問うべきである。健全な行政運営に深刻な影響を与える本計画の予算化は認められず、反対した。

国民健康保険税率引き上げの条例改正 国民健康保険事業、後期高齢者医療各特別会計予算に反対

健全化計画に沿った引き上げに加え、子ども子育て支援分が加算される。国の定めにしたがった結果ではあるが、市民が必要な医療を使い続けられるよう国補助を要望するよう求め反対した。

議員の月額報酬引き上げの条例改正に反対

調布市議会議員の報酬は多摩26市内でも高い方だ。組合や審議会で議員報酬外の報酬を受ける議員も多く、市民生活支援の充実を求め反対した。

市長・副市長の月額給与引き上げの条例改正に反対

市長は2万5千円、副市長は5千円引き上げる内容。経済状況の先行きも不透明で市民の理解は得られないと考え反対した。



一般会計補正予算第4号の専決処分を承認

予算額に衆議院議員選挙費1億円余（国補助）を追加



一般会計補正予算第5号に反対

予算額に29億600万円余を追加

主な内容

歳入

市税収入11億円、各交付金10億円などを増額

歳出

全市民3000円給付を5000円に増額 4億8000万円余

医療機関・介護事業所・保育所等支援 1億8000万円余

低所得世帯エアコン設置助成 1億4700万円余

その他、公共工事の前倒し、基金積立、年度末の過不足調整など

12月議会で可決した一律3000円給付を増額するため、国交付金と市の繰越金2億4000万円余を充当。物価高騰対応にはデジタル商品券事業もあるため、年金生活者など収入が変わらない市民への支援に重点的に活用するべきと考え反対した。



賛成した議案

- 介護保険事業特別会計予算、用地特別会計予算、下水道事業会計予算
- 政務活動費引上げ・誰でも通園制度の基準・介護保険税率に所得税率改定を反映しない・市営住宅の要介護者の利用許可に関する条例改正など、映画のまち調布推進地区の制限緩和に関する条例制定



陳情

「政府に対し非核三原則の堅持と被爆国としての責務の継承を求める意見書提出を求める陳情」が全会一致で採択され、市議会から国に意見書を上げた。

れいわネット・にじいろの会 代表質問

1. 市民の参加と協働
2. 市民生活支援
3. 平和施策
4. 多文化共生社会
5. 女性職員の活躍推進
6. 困難を抱える女性への支援
7. LGBTQへの支援
8. 共生社会とインクルーシブ教育
9. 子どもの権利
10. 不登校児童生徒への支援
11. ケアラー支援
12. 社会的弱者の視点に立った防災